

編集長が行く



大岡川 自転車探訪

吉田新田編

大岡川を形作った吉田新田を走った。 350年あまりの歴史に思いをはせながら。

江戸時代初期、下流域の大部分は入海(いりうみ)だった!

かつては、大岡川が注ぐ内陸深くまで入り込む入海だったところを、江戸の商人だった吉田勘兵衛が中心となって埋め立てた『吉田新田』。この8年がかりの大事業が完成したのが1667年、昨年350周年を迎えた。

吉田新田は、現在のお三の宮日枝神社(南区山王町)を頂点に大岡川と中村川に囲まれた釣鐘形の土地で、江戸時代初期、人口増加で不足した食料を補うため、全国で盛んに行なわれていた

言わば新田開発ブームに乗り、開墾がなされた。

現在の大岡川下流域の大部分と中村川は、この開墾時に人工的に作られたもので、困難を極めた事業だったと聞かす、その詳細については資料の多くが関東大震災によって消失したため、分からない事が多いようだ。

今回、自転車で最初に向かったのは横浜開港資料館(中区日本大通)と横浜歴史博物館(都筑区中川中央)。残された資料をもとに紹介



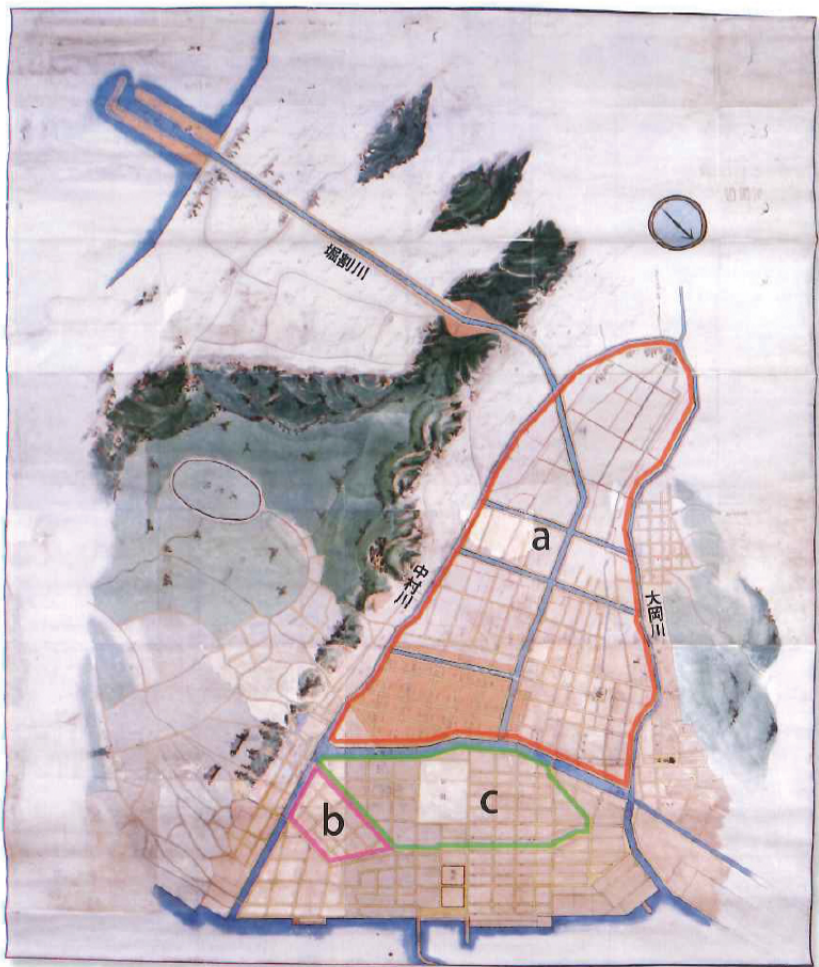
1 『お三の宮日枝神社』 吉田新田村の鎮守稲社として吉田勘兵衛が1673年に創建。撮影:豊田直之



2 『吉田橋閘門跡』 吉田新田から架橋された吉田橋、現在、首都高速が下を通る。撮影:豊田直之

されている新田開発の様子や経緯などを閲覧し、それから、吉田勘兵衛の子孫が経営する吉田興産株式会社でも資料を見せていただき話をうかがった。

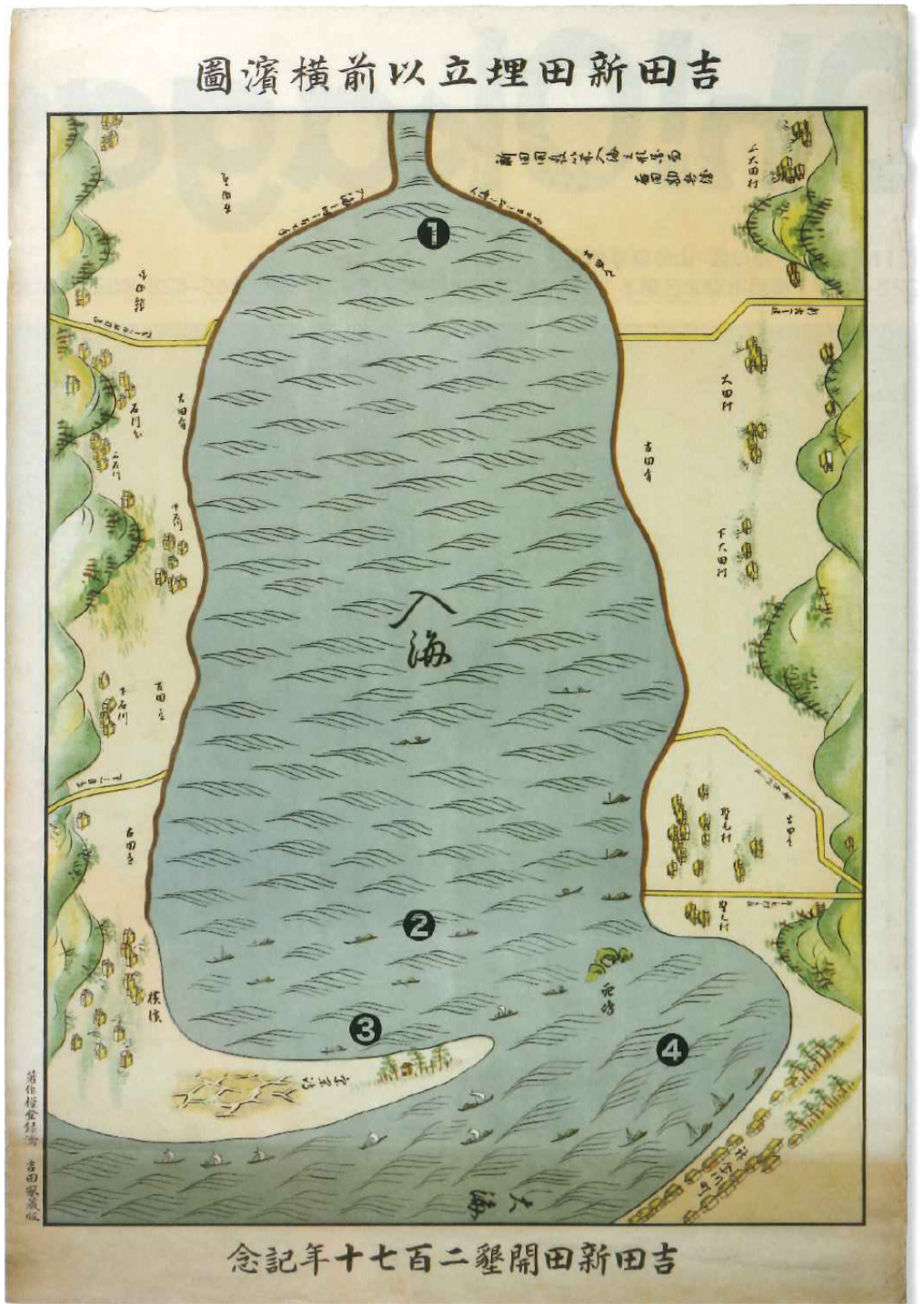
吉田新田の開発の方法は『埋め立て』とされているが、



蓬萊町外七ヶ町埋立及根岸掘削図(吉田興産株式会社提供) a吉田新田(1667年完成)→b横浜新田(1818年完成)→c太田屋新田(1853年完成)と、吉田新田を元にして、開港場に隣接する都市域が拡大している。



稲作に不可欠な水の取入口、いわば吉田新田心臓部に置かれた『お三の宮日枝神社』。撮影:豊田直之



吉田新田開墾前図(吉田興産株式会社提供) 東京湾と区別するように左から右へ横に伸びている今はなき砂浜が『横浜』という地名の由来らしい。



3 『横浜スタジアム』 吉田新田の後の太田屋新田内(1853年完成)に位置する。撮影:新村浩子



4 『みなとみらい』 吉田新田の300年以上後、1984年に埋立て事業が始まった。撮影:新村浩子

実際には周囲を堤防で囲んで、その中の海水を干上ら

せる『干拓』によって行なわれたそうだ。

海岸部における新田開発で最も危惧されることは、新田内への塩分の浸透である。吉田新田では、堤の中心部に粘土を突き固めることで対処したようだ。また、貴重な淡水の確保と供給のために、大岡川の豊かな流れを利用した用水施設、水門、排水などの整備を行なった。

それから、大雨などにより開発途中の堤防が破壊されることも多かったようだが、吉田新田でも大雨で一度目の工事が頓挫している。

失敗に終わった一度目の工事の後、反対する住民た

ちを説得した吉田勘兵衛の情熱や、不足する資金を調達するための作戦、それから、自らの命と引き替えに新田の完成を祈ったとされる『おさんの人柱伝説』など、数々の人間ドラマが語り継がれている。この新田が江戸時代の多くの住民の悲願であり、苦難と困難を乗り越えて完成されたものなのだという事の証でもある。

350年前の整備された耕地とできたばかりの大岡川、中村川、そして、行き交う運河の風景やそれを利用する江戸の人々の様子を想像しながら、川とその流れの跡を自転車で辿ってみた。

中村川の上を高速道路が走り、派大岡川と呼ばれていた川の跡に高速道路が走り、その横にJR根岸線が通る。新田中央部を流れていた吉田川(中川)の跡は現在の大通公園で、その下を市営地下鉄が通っている。

昭和27年創業
共栄商事不動産
http://www.kamioooka.jp

【本店】横浜市港南区上大岡西1-19-4
Tel 045-842-0054/Fax 045-846-3701

【駅前支店】横浜市港南区上大岡西1-15-1 camio1F
Tel 045-842-0052/Fax 045-846-3702

【大久保支店】横浜市港南区大久保1-11-6
Tel 045-842-0058/Fax 045-842-2206

秋山眼科医院
akiyama eye clinic
http://www.hekaton-cheir.jp/akiyama-eyeclinic/

横浜市中央区尾上町3-28 横浜国際ビル4階(受付) TEL:045-641-9361

眼科 月~金 10:00~13:00 15:00~18:00 土曜 10:00~13:00
耳鼻咽喉科 火・水 10:00~13:00 15:00~18:00 月・木・金 10:00~13:00

まごころ・信頼・サービスをお届けします。

株式会社 横濱屋

- 業務用酒類卸
- スーパーマーケット
- お酒スーパー

●本社 横浜市港南区宮元町4-93 TEL 045-712-2670
●業務用酒類卸(東神奈川営業所) 横浜市神奈川区千若町2-1 TEL 045-440-6440